

北海道における国際会議等誘致の取組



平成24年8月 北海道

I 国際会議等の北海道開催の推進について



国際会議等の北海道開催の推進についての閣議了解、政府の支援

国際会議等の北海道開催の推進について

平成20年7月4日
閣 議 了 解

1. 本日閣議決定された「地球環境時代を先導する新たな北海道総合開発計画」においては、「アジアに輝く北の拠点～開かれた競争力ある北海道の実現」を戦略的目標のひとつとして掲げ、北海道洞爺湖サミットの開催等を活用し、国際会議や国際的な規模で開催される行事の誘致を促進することとされている。

北海道では、サミットの開催を契機に、従来から進めてきた国際会議等の誘致の取組を強化することとしており、政府としても、新たな北海道総合開発計画を着実に推進する観点から、北海道による取組の強化に応じて今後必要な支援を行っていくこととする。なお、民間の国際会議等の北海道開催につき、民間にも協力を求めていくものとする。

2. 上記の必要な支援を行っていくために、各省庁連絡会議を設け、所要の調整を行うこととし、その庶務は国土交通省において処理する。

II 誘致体制等



官民一体の「北海道国際会議等誘致推進会議」を設置

(目的)

推進会議は、北海道の活性化に資するため、サミットの開催によって高まった北海道の知名度や培われたノウハウ、官民協働の機運を活かしながら国際会議等の誘致に積極的に取り組むことを目的とする。

(構成団体)

北海道、札幌市、北海道市長会、北海道町村会、北海道経済連合会、
(社)北海道商工会議所連合会、北海道経営者協会、
北海道経済同友会、(社)北海道観光振興機構、
北海道農業協同組合中央会、ホクレン農業協同組合連合会、
北海道漁業協働組合連合会

(顧問)

北海道経済産業局、北海道開発局、北海道運輸局

Ⅲ これまでの誘致活動の成果



北海道での国際会議等開催状況(北海道洞爺湖サミット以降)

- | | |
|--|---------|
| ① 第1回G8水と衛生に関する専門家会合
(H20.12.16～17 帯広市) | 〈外務省〉 |
| ② 第5回日本・太平洋諸島フォーラム首脳会議
(太平洋・島サミット)(H21.5.22～23 占冠村) | 〈外務省〉 |
| ③ 第8回日豪観光交流促進協議
(H21.6.1～2 ニセコ町) | 〈観光庁〉 |
| ④ 第7回日ASEAN次官級交通政策会合
(H21.6.15～19 函館市) | 〈国土交通省〉 |
| ⑤ 第12回日中韓三カ国環境大臣会合
(H22.5.22～23 千歳市・苫小牧市) | 〈環境省〉 |
| ⑥ 2010年日本APEC貿易担当大臣会合
(H22.6.5～6 札幌市) | 〈外務省〉 |
| ⑦ 第15回日・オーストリア21世紀委員会
(H23.5.22～23 小樽市) | 〈外務省〉 |
| ⑧ 第5回日中航空政策対話
(H24.6.14～15 釧路市) | 〈国土交通省〉 |
| ⑨ 第13回北東アジア港湾局長会議・
北東アジア港湾シンポジウム
(H24.10.7～10 小樽市・札幌市) | 〈国土交通省〉 |

IV 本道の優位性(1) ~ 交通アクセス ~



新千歳空港発着の国際定期航空路線が最大11路線に拡大予定

国際定期航空路線

新千歳空港	— ソウル	週18往復
〃	— 釜山	週3往復
〃	— 北京	週5往復
〃	— 上海	週5往復
〃	— 大連	週2往復
〃	— 台北	週14往復
〃	— 香港	週7往復
〃	— グアム	週2往復
〃	— ユジノサハリンスク	週2往復

- ◆7月21日から8月21日まで瀋陽便が復活
- ◆10月からバンコク便、11月からホノルル便が週3往復就

新千歳 ↔ 羽田
1日54往復

新千歳 ↔ 成田
1日10往復

新千歳 ↔ 関西
1日16往復

新千歳 ↔ 中部
1日15往復

IV 本道の優位性(2) ～ 豊富な開催地 ～



道内各地で国際会議等の開催が可能



<赤れんが倉庫群>

<函館山からの展望>

<イチョウ並木>

<ハルニレの木>

IV 本道の優位性(3) ~ 海外とのネットワーク ~



海外の自治体との交流

平成24年6月12日
日中国交正常化40周年記念フォーラムを開催



----- 姉妹友好提携地域 -----

- カナダ アルバータ州
- 中国 黒龍江省
- アメリカ マサチューセッツ州
- ロシア サハリン州
- 韓国 釜山広域市・慶尚南道・ソウル特別市

IV 本道の優位性(4)

～ 訪日外国人来道者数の推移 ～



東日本大震災後の減少も徐々に回復

<近年の状況>

◇東日本大震災前の平成22年度は通年で74万1,700人、前年度比113%

◇東日本大震災が発生した3月11日以降大幅に減少

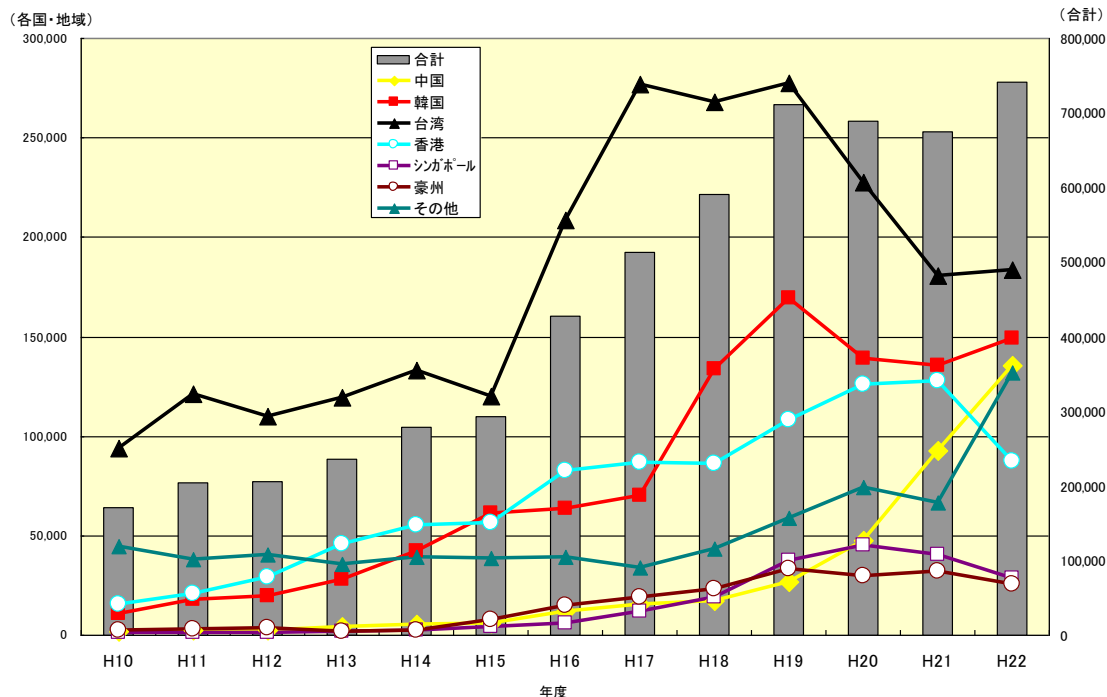
◇震災後の平成23年度各四半期毎における対前年同期比

※第1四半期 → 38.4%

※第2四半期 → 62.7%

※第3四半期 → 98.6%

訪日外国人来道者(実人数)の推移



IV 本道の優位性(5) ～ サポート体制 ～



「おもてなしの心」で国際会議の開催をサポートする体制が充実

(公財)札幌国際プラザ コンベンションビューロー

(社)函館国際観光コンベンション協会

旭川コンベンションビューロー

コンベンションシティ北見推進協議会

(社)帯広観光コンベンション協会

(社)釧路観光協会

(財)北海道大沼国際交流協会

主な開催支援プログラム

様々な支援サービスで
国際会議の開催をサポート！

- ◇ 市内ガイドブック等資料の提供
- ◇ ボランティア通訳の派遣
- ◇ 同伴者プログラムの企画、実施
- ◇ コンベンション会場における各種サービス
- ◇ 市民、報道機関への広報

等

IV 本道の優位性(6-1) ~ 食・自然・文化 ~



国際会議等での北海道の食・自然・文化の発信



雪だるまによる歓迎(太平洋・島サミット)



道産食の発信イベント(日本APEC貿易担当大臣会合)



「YOSAKOI ソーラン」の演舞(G8サミット)



アイヌ舞踊の披露(太平洋・島サミット)

IV 本道の優位性(6-2) ~ 食・自然・文化 ~



世界に誇る自然遺産



知床



洞爺湖有珠山ジオパーク



大沼



釧路湿原

V 国際会議関連情報の提供



北海道コンベンションガイドによる情報提供

<北海道コンベンションガイド掲載情報>

- ①「Why Hokkaido」
(北海道の国際会議開催地としての魅力、優位性)
- ②コンベンション施設・宿泊施設
- ③市町村情報
- ④コンベンションビューロー
- ⑤開催サポート

◇対応言語

日本語、英語、中国語(簡体字・繁体字)、
韓国語、ロシア語

◇URL

<http://www.hiecc.or.jp/hcg/>

国際会議の開催は、是非北海道で！



(問い合わせ先)

北海道総合政策部知事室国際課
国際会議担当
(担当:宮澤、牧方、高畠)

〒060-8588 札幌市中央区北3条西6丁目
TEL:011-231-4111(内線21-206)